

ROU  KEN

カモミール(カミツレ) Chamomile

ハーブティーやアロマなどでおなじみのキク科の薬草で原産国はヨーロッパ。一般的に「カモミール」と呼ばれているものは春に開花するジャーマンカモミールを指します。香水によく使われるローマンカモミールは夏に開花し、リンゴのような甘い香りが特徴的です。カモミールの名の由来は、ギリシャ語の「chamaimelon」からきており、「大地のリンゴ」という意味です。日本に伝わってきたのは江戸時代末期でオランダより西洋医学の民間薬として伝わり、オランダ名の「カミルレ」がなまって日本では「カミツレ(加密列)」という名前で呼ばれるようになりました。現在では広く普及して庭に植えられることも多く、飛んだ種からそのまま野生化することもあります。

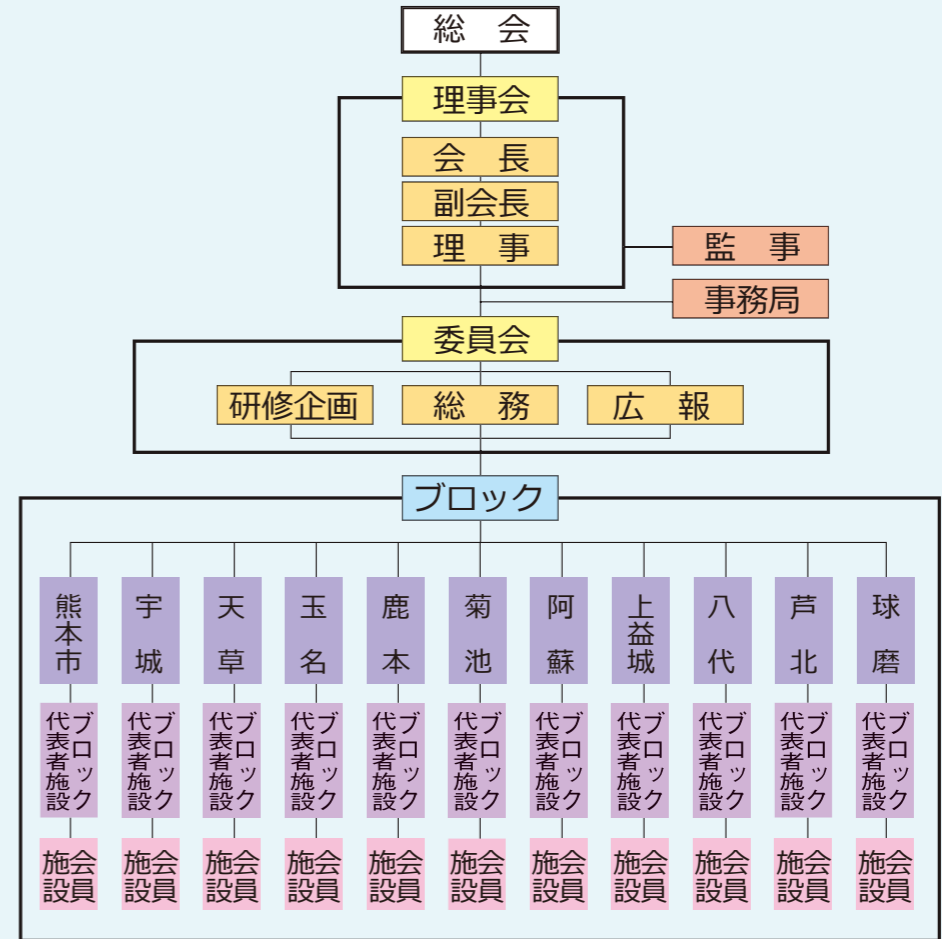
素朴でかわいらしい花ですが、寒さや風雨に耐え、踏まれてもよく育つ生命力の強さに由来して「苦難に耐える」「逆境で生まれる力」という花言葉があります。リラックス効果があることから「あなたを癒やす」や、世界最古の薬草として神に捧げたことから「親交」「清楚」という花言葉もあります。「踏みつけられるほど強く育つ」と言われるほど繁殖力が強いので、中世のイギリスでは、謙虚さと忍耐の象徴とされてきました。



精油とハーブで共通している効果や効能が多いのも魅力で、殺菌作用が高く、水虫の原因となる白癬菌や、発生しやすいカビの原因菌に対する効果を発揮します。また、高い鎮静作用を持っており、自律神経を整え、不安やイライラを和らげてくれます。リラックス作用もあることから、安眠効果も期待できます。

一般社団法人 熊本県老人保健施設協会

一般社団法人熊本県老人保健施設協会組織図



- 総会 通常総会年1回6月に開催、臨時総会は必要に応じて開催。
- 理事会 通常理事会(年2回の開催、6月、3月)
臨時理事会(必要に応じて開催する。)
- 委員会 ●総務委員会 理事会の指示のもとに会務全般の庶務を行う。具体的には事業計画の立案、実施状況の把握、老健運営上の課題の整理、県担当部局との調整など。
●研修企画委員会 年間を通しての研修の企画、講師の選定、研修の運営、研修の評価等。
●広報委員会 広報誌の発行、ホームページの作成、会員への情報伝達方法の検討。
- 各ブロック 地域振興局単位で意見の集約を図り、老人保健施設の立場から地域の活動に協力していくために、熊本市及び地域振興局単位でブロックを編成する。施設間、職種間での意見の交換を行い、課題の整理と活動を行うこととする。

目次

一般社団法人熊本県老人保健施設協会組織図・目次2

アフターコロナに向けて 理事 松下 和徳3

強化型老健、寝たきりゼロ作戦、地域包括ケアシステム 会長 山田 和彦4

令和3年度 表彰受賞者5

研修会報告 未来へ向かう舵切りのために 会長 山田 和彦6~7

研修会報告 新型コロナウイルス感染症について 白藤苑 松下 和徳8~9

熊本県老人保健施設協会会員施設10~11

お知らせ・編集後記12



アフターコロナに向けて

一般社団法人熊本県老人保健施設

理事 松下 和徳

2020年初頭にわが国でも確認され全国で蔓延した新型コロナウイルス感染症は現在でも変異を続けて弱毒化しながらもその感染性は衰えることなくこの原稿を書いている2022年5月末でも継続しています。隔離以外の治療手段を持たなかった私たちも、ワクチンの開発、様々な変遷を経て専用(万能とはいきませんが)の治療薬を手に入れることができ、また介護老人保健施設でも使用できるようになり「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」と時代の流れはようやく2年以上かかって変わりました。

国は2014年に「医療介護総合確保推進法」を施行し、ケアの場を施設から在宅へと移すことを重視し、このため急速に進む少子高齢化に対応するため地域包括ケアシステムの構築を全国的に展開して、2025年を目標に、地域の包括的な支援やサービス提供体制を構築できるよう、取り組みを推進しています。本来ならこのシステムの中で中心的存在であるべき介護老人保健施設は2018年の医療介護同時改定で病院から

の流れの一部は途絶えてしまいました。このため、稼働率が悪化しているところに今回の長期にわたる新型コロナウイルス感染症対策として、面会禁止、在宅復帰の延期に伴う入所期間の延長など「人流を抑制する」対応を余儀なくされて介護老人保健施設の運営は非常に厳しくなっています。

こういった現在の状況において私たち介護老人保健施設も「アフターコロナ」に向けて対応を考えていかなくてはなりません。「人の流れの抑制を解いて稼働率や在宅復帰率を改善していくこと」で少しずつ地域包括ケアシステムを動かしていくとともに、ワクチン接種の推進や一連の感染対策による感染防御と共に感染発生時の対応・体制構築(ゾーニング、PPE、発生時の治療薬の迅速な施設内投与体制の構築)を行っていくことが肝要です。

「ウィズコロナ」の時は、入所者の方をできる限り外部との接触を断ってきたため、認知機能の低下、ADL低下なども長期化と共に目立ち始めていました。「アフターコロナ」では、滞っていた入所者の方などへのサービスも

見直して、面会時間の設定、試験外泊、ショートステイの推進、リハビリテーション体制の再構築(個別リハビリテーション、集団リハビリテーション)、買い物ツアーなどのレクリエーションの復活など取り組むべき課題は多く、感染状況を横にらみしながら取り組んでいく必要があります。

強化型老健算定を行っている施設では、コロナ禍で明らかに増えた在宅復帰に消極的なご家族への対応、前述のように在宅復帰へのとりかかりや入所前後訪問指導、退所前後訪問指導へのご家族の協力が得られるかなど多くの課題も抱えています。

「アフターコロナ」にむけて、医師・介護・看護・支援相談員・リハビリテーション科・栄養科・保険事務職などすべての職種の協力が必須ですが、多職種協働は介護老人保健施設の強みです。組織がつながり、地域につながり地域包括ケアシステムの中心的存在としてあるために「アフターコロナ」に向かって動き始めましょう。



「強化型老健、寝たきりゼロ作戦、地域包括ケアシステム」

一般社団法人熊本県老人保健施設協会 会長 山田和彦

3月下旬、突然、長年全老健会長を務められた第2代全老健会長山口昇先生の訃報が飛び込んできた。この半年ほど山口先生のお声が聞こえなくなっていた矢先で気になっていたところであった。私が全老健の委員会ですべてお会いしたのは平成9年ごろだったと思う。まだ全老健事務局が新宿御苑のすぐ横にあり、会長室とは名ばかりのパティシオンで仕切られた狭い部屋であった。当時山口先生は全老健会長として2期目がスタートしたばかりであり、当時は介護保険制度スタート前夜で大変混とんとしている中、全老健も厚労省も熱気にあふれていた。山口先生は当時介護保険制度を準備する委員会や審議会の中心メンバーとして日本医師会の青柳俊常理事や日本看護協会の山崎摩耶理事などと共に厚労省内外を走り回っておられた。私はまだ若造で使いやすかったのか、何かあるたびに呼び出され、審議会や日医など他団体との打ち合わせの時には勉強になるからついていと言われ、全老健と厚労省の担当部署の若い官僚の皆さんとの間の使い走りをよくさせられた。そのおかげで、制度の仕組みもそして政策が生み出されていく過程も実際に見聞きすることとなり私の掛け替えのない財産となった。またその中で多くの関係者の皆さんに顔を覚えていただきその後大変助けいただいた。全老健会長に就いていた時の東日本大震災は当然ながら、熊本地震そして1昨年の球磨川の氾濫による豪雨災害とあの頃の若い官僚の皆さん達がそれなりのポストにおられ本場に多方面に助けいただいた。

山口先生との思い出、教えていただいたこと、怒られたことは枚挙にいとまない。その中で一つ上げるとすると、私が全老健会長としての臨んだ2012年介護報酬改定で、強化型老人保健施設という新しい老健の基本報酬が設定されたことを報告した時のことである。報酬改定で毎日のように審議会や、厚労省との折衝に振り回されて山口先生への報告もしていなかったこともあったが、改定内容がほぼ決定し、熊本に帰る途中の羽田空港にいと突然山口先生から電話がかかってきた。そこで「強化型老健という体系ができる事、そしてその目的は、老健の在り方として問題視されていた入所の長期化、在宅復帰率の低下に歯止めをかけ、老健の本来の役割に沿って在宅復帰、在宅支援をちゃんとやっているところを評価する」という趣旨であること。多くの老健にその方向に向かって運営していただくことを期待しそれなりの報酬まで積み上げたこと」を報告した。すると「お前たちは何と何を期待したのか、そんな仕組みを作るとまた寝たきりを作ってしまうぞ」という強いお叱りであった。多くの会員の皆さんからは強化型老健なんてハードル

が高すぎるという不満の声がある中、今この新しい報酬体系に舵を切らないと老健の将来はないという思いで私は厚労省の提案を受け入れる決断をした。その結果に対し、私の期待した言葉と全く反対のお叱りに飛行機の時間も迫る中戸惑いとなって返事したかよく覚えていない。ただ何でという思いであったことは間違いない。それから熊本に帰るまでの飛行機の中で自問自答した。たどり着いた自分なりの答えは、在宅へ帰した後の支援体制がまだ十分でないなりに、無理に在宅復帰率やベッド回転率で誘導するだけで老健からの退所を促進しても「寝たきりを作ってしまうリスクが高い」ということだったのではないかと、いうことだった。そこで考えが及んでいない自分の未熟さに今でも反省させられている。

山口先生は長崎のご出身で、長崎大学医学部を卒業になり外科に入局され、30代の頃、当時長崎大学の関連病院であった広島県の御調町にあった国保御調病院に派遣され、当初は数年で長崎に帰るつもりだったそうだが、病院の立て直しをしているうちに腰を据えてしまい、とうとう広島の人となり広島で人生を終わらされた。今2025年を目前に「地域包括ケアシステム」の構築がうたわれている。この地域包括ケアシステムの生みの親が山口先生であるということを知らない人も多いのではないだろうか。山口先生の地域包括ケアシステムの根幹にあるのは「寝たきりをなくす、寝たきりを作らない」という信念である。老健での経験が長い人は「寝たきりゼロ作戦」という全老健の標語を「存じだろ」。山口先生は御調町に若き外科医として赴任して、手術に明け暮れる中、やっと手術で助けて元気で退院し自宅に帰った人が、次に病院を受診するとき寝たきりになり大きな褥瘡を作ってくる姿に赴任早々に衝撃を受けた。その実態を直視し、また制度も報酬もつかない中「出前の医療」という名目の訪問看護をスタートされることになる。病院で手術しているだけではだめだ、在宅での生活をどうにかしなければという思いからだった。その後は矢継ぎ早に福祉サービス等にまで手を広げ、それを充実することで最終的に医療も福祉も一体的に提供する地域包括ケアシステムに到達されたこと何となく思う。あの時から10年以上の時間がすぎた。介護報酬上の強化型老健が進化していく一方、在宅ケアの現状を見ると「寝たきりを作らない、作らせない」ということを山口先生の言い残された言葉として今一度思い起こし老健運営に携わっていきいたいと思う。山口先生長い間本当にお世話になりました。ありがとうございました。(合掌)

令和3年度 表彰受賞者

厚生労働大臣表彰



介護老人保健施設 湧心苑 会長 末藤 榮一氏

私は、2021年11月、介護保険施設の向上と発展に功績があったとして、厚生労働大臣賞を受賞、2020年11月にも全国老健施設協会会長賞も受賞いたしました。この二つの受賞に関しては、熊本県老人保健施設協会会長の山田和彦先生からの強い推挙があったと知り、深く感謝申し上げますとともに、協会理事として無益だった者として忸怩たる想いがあります。

実は、私は今年で米寿を迎える年齢となりますことから、山田会長からのプレゼントだと思っております。そして、私の法人の会長として日々、出来る限り出社して老害を振りまいています。誰でも長い人生の中で、断ることのできない運命があることは周知の事ですが、私もその例外ではありませんでした。

28年前、当時介護保険制度が創設される前から、老健の経営に一步踏み出しました。それまでは、経営の事は頭の隅にもない状態での医師バカの人生でありましたが、ヒト・モノ・カネに直接携わる世界に入り、現在に至っております。その間、山田会長をはじめとする、多くの方のご指導を受けてまいりました。

今、スタート時の事を想いますと、色んなことが走馬灯のように浮かんでまいります。出逢い、別れ、喜び、悲しみ、不安、孤独などなど、経営者が誰でも経験する人並みの人生です。今は現場から聞こえてくる問題に、耳を傾けています。老健は今、人手不足、コロナ禍、厚生省の考え方など、負の連鎖の最中ですが、必ず出口はあります。設立理念を追求する姿勢を、大切にしたいと思います。



天草中央総合病院附属介護老人保健施設 施設長 矢野 辰志氏

この度は山田県老健協会会長に推薦して頂き、大変名誉ある賞を受賞出来たことを心より感謝申し上げます。平成20年、急性期病院の副院長及び脳神経外科医として日当直もしながらの老健施設長兼務は初め戸惑いの連続でした。この時期、介護保険の詳細について教えてくれたのはベテラン職員の方々です。解りやすいレクチャーと適切なアドバイスをして頂いた事には感謝

の言葉しかありません。

当施設利用者様及びご家族に安心して頂く為には、医療面の充実こそが老健における医師の役割であると考え取り組んできました。最初の試練はノロウイルス感染症でした。次から次に下痢・嘔吐の入所者が発生し大変な思いをしました。ノロウイルス感染症・インフルエンザに対応していく中で、職員が実用的な感染症対策ミニマニュアルを作成しました。このマニュアルは全老健大会で発表することが出来ました。コロナウィルスの蔓延を考えると感染症への取り組みは、転倒と共に老健における永遠の課題と考えます。

職員が自分の仕事に誇りを持つ為には学会発表も重要と考えました。全老健大会には平成20年の京都大会に職員7名と共に初めて参加しました。その後、全国規模の学会・大会に毎年、数名が発表出来るようになりました。発表後、日常業務をしながら準備したことへの慰労と発表成功を祝っての、職員との宴会は無上の楽しみです。

組織作りは人材育成と考え、資格取得を勧めてきました。「介護老人保健施設リスクマネジャー」に関しては初め2名に強制的に試験を受けさせましたが、その後は自発的に受験するようになりました。現在、当施設にはリスクマネジャー7名、ケアマネジャー15名、社会福祉士2名が在籍しています。

今回、このような名誉ある賞を受賞出来たのも職員OBの教えと日夜、業務に励んでいる職員のお陰と思い、感謝しています。今後もこの賞に恥じぬよう組織運営を行い、協会の発展に寄与出来るよう精進してまいります。

県老健会長表彰

- | | | |
|-------------|-----------|---------|
| ● 平成唯仁館 | 相談部課長 | 柳 浩 司 |
| ● やすらぎ苑 | 理学作業療法副士長 | 蒔 元 雄 大 |
| ● 孔子の里 | 介護主任 | 田 中 あけみ |
| ● 孔子の里 | 介護福祉士 | 成 松 准 子 |
| ● リバーサイド御薬園 | 介護支援専門員 | 愛 甲 裕 |
| ● リバーサイド御薬園 | 作業療法士 | 吉 原 敬 彦 |

未来へ向かう舵切りのために

「老健の将来像とは」

新型コロナウイルス感染症や大規模災害などが発生する中で公表された平成30年度介護報酬改定。昨年12月16日に開催されたオンライン研修会では、熊本県老人保健施設協会の山田和彦会長が将来の老健の在るべき姿を伝えられ、続いて青翔苑の永廣研二氏が介護報酬改定の概要や算定要件等を説明されました。

「人生100年時代」の老健の姿

昭和63年、老健は病院からの在宅復帰やADLの回復を目指すリハ機能提供の地域拠点施設として誕生しました。山田会長は「報酬改定から見たこれからの老健」をテーマに、時代の変遷とともに少しずつ報酬体系が変わった老健の歴史を振り返られ、「現場は混乱や我慢を繰り返しながら、期待される役割に向かって変化してきた」と話されました。

国内では「人生100年時代」といわれる長寿社会や現役世代人口が急激に減少する時代へと向かっています。山田会長は、「人口減少や単身世帯・高齢者単身世帯の増加、雇用の非正規等に加え、団塊の世代全てが75歳以上となる2025年が目の前に迫っている。今後、地域でどのようにして支えていくべきかを今一度考えていただきたい」とし、高齢者数がピークをむかえる2040年問題もあらためて指摘されました。



地域にマッチした施設運営

将来の老健の在り方に関しては、「長寿社会は誰も経験したことがなく、将来を推測するしかないというのが本音。加えて、本来の老健は医療と介護を同時に提供する施設だったが、体系や制度改正のために医療機能が縮小されたことも影響を与えるだろう」とし、今後は介護とリハ中心の施設に変化すると予測。「特に熊本老健は、実直に老健の理念を守りながら地域での役割を果たし、全国トップレベルの運営実績を誇ってきた」と今後を期待を寄せられました。

最後は「多職種を抱えた老健だからこそ、自分たちの責任で地域にマッチした施設運営を切り開き、老健でなければできないことをそれぞれが見いだすことができる。施設によって運営方針や考えが違っていい。そこそが地域に期待されていることだ」と強調されました。

改定後の現状と今後の課題

続いて永廣氏は「令和3年度介護報酬改定における改定事項について(厚生労働省HP)」及び3月26日に開催された(令和3年度介護報酬改定説明会

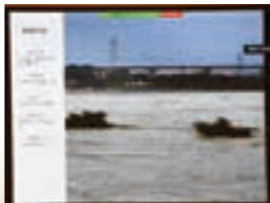


- た(全老健)資料」の一部抜粋を用い、同改定の説明を行いました。(図1)
- ポイントは次の通り。
- ①感染症・災害発生に備えた訓練等、無資格者の認知症
- 介護基礎研修受講の義務づけ

感染症や災害への対策強化を

こうした社会背景の中、今回の介護報酬改定のポイントを「新型コロナウイルス感染症や大規模災害への対策」とした山田会長。令和2年7月豪雨災害において、「自身が理事長を務められる病院施設の発災直後の映像を交えながら、「予期しなかった災害ではあるが現実起こり得ると考えて取り組んでいただきたい」と強く訴えられました。

さらに、昨年度から本格的な運用がスタートした「科学的介護情報システム(LIFE)」活用に触れ、「全老健を含め現場は苦労をされていると思うが、国はデジタル化によってサービスの効率化と財源の有効活用を図ろうとしたのではないかと説明。一方で、「介護保険法施行当時から比べると、国の老健に対する熱い想いが感じられないというのが私の実感。国は老健の将来像に迷いが出ていているように感じた。全老健も国の窓口になるのではなく、全国の組織団体としての役割を果たすべき」との厳しい意見も述べられました。



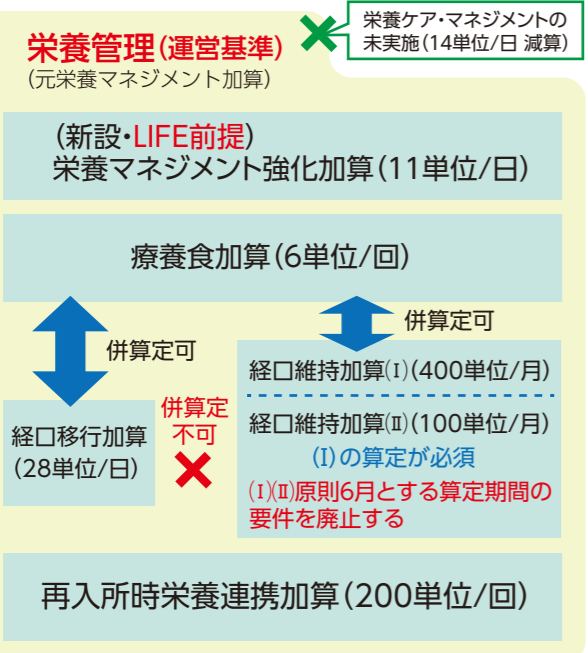
② LIFE関連加算について

- ③ 在宅復帰・在宅療養支援機能の評価の充実
- ④ 管理栄養士による
- ⑤ 歯科衛生士による口腔衛生管理の強化
- ⑥ 褥瘡マネジメント・排せつ支援加算等の見直し
- ⑦ 感染症等による通所介護等利用者減少の加算
- ⑧ 通所リハビリテーションの入浴介助加算の見直し
- ※①④⑤は改定後3年間の猶予措置あり

さらに、永廣氏は科学的介護と多職種連携、老健においては在宅復帰等を促進する観点が必要視されたと強調。次に、「令和3年4月介護報酬改定後の実態調査(同年8月介護報酬請求分)」結果を公表し、「管理栄養士の配置、歯科衛生士との連携が難しい」などの課題を伝えられました。

栄養管理と関連加算の関係

2021.3.20時点 全老健作成



※上記加算を算定しても、褥瘡マネジメント加算との併算定は可能

図1



新型コロナウイルス感染症クラスター発生からの教訓

講師/介護老人保健施設 白藤苑 施設長

松下 和徳

座長/介護老人保健施設 青翔苑 副施設長

永廣 研二

介護老人保健施設でのクラスター発生

日本国内において新型コロナウイルス感染症が流行し、初めての冬を迎えた令和2年12月、熊本県内では不要不急の外出自粛要請等の対策が取られる「リスクレベル4(特別警戒)」に引き上げられました。

同月23日、介護老人保健施設「白藤苑」では、併設クリニックで透析治療を受けた外来患者が同日にコロナ陽性者と判明したことを発端に、翌日には職員や入所者ら25名が発熱。感染はあっというまに拡大し、クラスター(感染者集団)と認定されました。

松下施設長は「亡くなった方に心からお悔やみ申し上げるとともに、利用者に不便をかけて申し訳なく思っている」と静かに語った後、感染防御で満足しないでほしいと訴えられました。

同施設は25日より閉鎖され、市保健所の指導下によるゾーニングが行われたほか、災害派遣医療チーム(DMAT)の指揮下に入りました。「私たち職員と市、DMATが対策本部を立ち上げ、1

日2回オンラ

イン会議を実施した。全ての情報はホワイトボードや電子化によって共有できるよう「クロナロジ(経時活動記録)」を作成した」と初期における指揮系統の確立が最も重要であると説明されました。さらに、ゾーニング設定とその周知の重要性、自分たちでは管理



できない重症陽性者の搬送調整、感染防護服の準備・配布、入所者の家族への早期の連絡、社会的事情によって帰宅が困難となった職員の宿泊場所の確保などが必要であると伝えられました。

コロナを正しく知って介護に生かす

早期に現状分析を行い、入所者・職員のスクリーニングPCR検査の結果が出揃った時点の活動については以下に分類。

しかし、松下施設長は「職員の隔離による人材不足、防護服での対応など現場に立つ職員の負担は増えるばかり。ケア内容を見直したり、1日2検のバイタルチェックを検温とspO2のみにしたりするなどの一時的な工夫も」と、人員に応じた柔軟な対応とチームで統一した考えを示されました。その上で、忘れてはならないのは職員のケアであり、「不安解消のためにコロナを正しく理解し、士気を維持してもらうこと。精神保健福祉センターとの連携による専門的な心のケアなども必要」と言及。

一方で、風評被害対策も迫られます。陽性者や

コロナクラスター対応

- ① 指揮系統
- ② 感染状況
- ③ 医療提供と健康管理
- ④ 人的資源
- ⑤ 物的資源
- ⑥ 搬送・戻り搬送
- ⑦ 環境整備
- ⑧ 職員ケア
- ⑨ 家族

利用者、その家族が施設に不信感を抱かないよう、また誹謗中傷の電話、職員家族の出勤登校中止、職員の日常生活制限などが起こらないためにも、「タイムリーな感染状況と対応策をホームページで公開することも忘れずに」との提案がなされました。

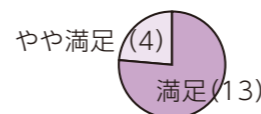
コロナ発生時の対応訓練を

ウイルスの危険度に応じた感染症法の1〜5類のうち、コロナは2類扱いとされています。1類であれば患者の遺体は非透過性納体袋に収容・密封し24時間以内に火葬しなければなりません。厚労省のガイドラインによるとコロナ患者が死亡した場合、透明や顔が見える非透過性納体袋を推奨、24時間以内の火葬が望ましく、葬儀も一般的な感染対策で実施可とされています。看取り期に入った患者への対応については、「最期の時間を少しでも大切に過ごすためのオンライン面会、亡くなられた後、納体袋に入れる前の面会などの対応も可能。コロナに理解のある葬儀社を紹介し、葬儀等が実施できるように配慮すべき」と語られました。

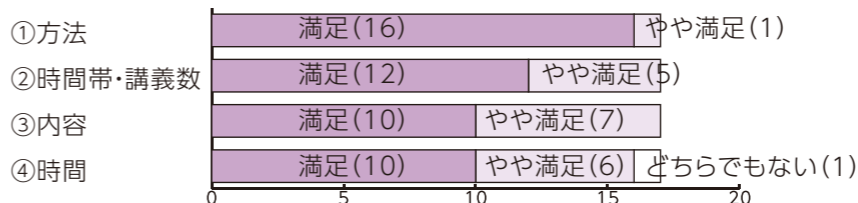
松下施設長は、「私どもの施設は、動線が短く、出入り口が複雑だったことが感染拡大の要因だったが、行政などの組織的な支援を早期から受けたことにより、クラスター終息へとつながった」としながら、感染が急拡大すると保健所の業務が逼迫し、手が回らなくなる可能性を指摘。「だからこそ実際に発生したときのシミュレーションが最も重要である」と提言されました。

第4回 オンライン研修 アンケート結果 (回答数 17)

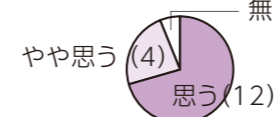
Q1. オンライン研修会はどの程度満足できたか?



Q2. 以下の項目についてどの程度満足できたか?



Q3. またオンライン研修会に参加したいと思うか?



Q4. 今後受講したい講義内容

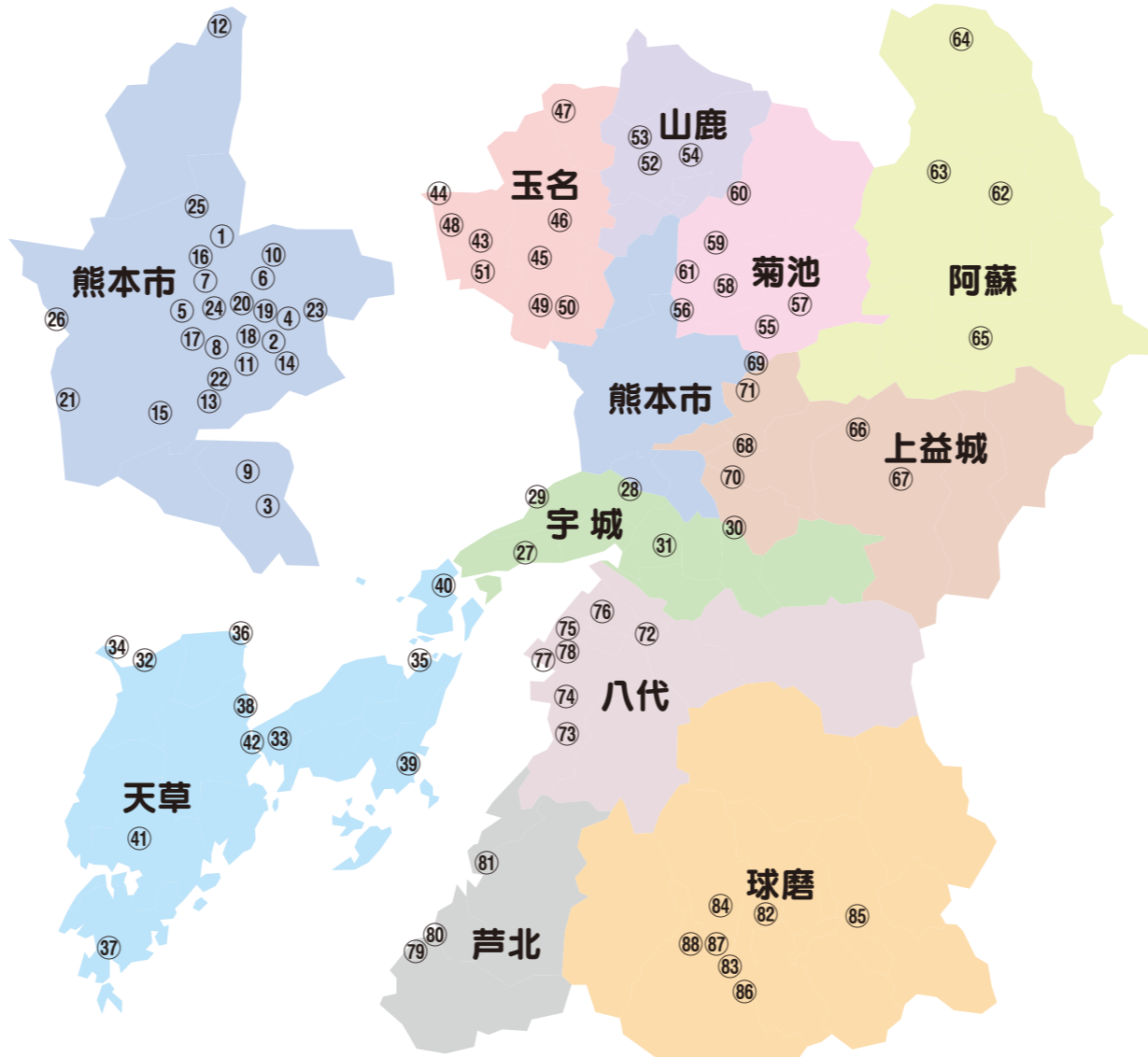
- BCP(実践研修の取り組み)
- LIFE(フィードバックデータの活用法等)
- 終末期について(老健での取り組み)
- 外国人労働者の雇用と評価
- 感染対策、身体拘束
~ケアの実践(実際に関わっている講師を)
ケアの実際(看護、介護の方)
- SDGSについて



Q5. ご意見・ご要望

- 施設内におけるコロナ発生やクラスターは、実際に起こらないと分からない部分はあるが、白藤苑での取り組みや準備、うまくいった点などを聞くことができたため勉強になった。
- 松下先生の講義~経験されたことを詳しくお話いただき、貴重な学びとなりましたことに感謝します。
- LIFE~知らないことが多く勉強になりました。まずは、なぜLIFEの導入が必要なのか基本的な学習が必要と思いました。
- 講義ごとに必要とする職員が替わって受講しました。県大会であれば通常1~2人しか参加できないのですが、オンライン研修だったため希望者は受講できました。
- 「クラスター発生からの教訓」を受講しましたが経験から示唆される言葉が心に響きました。
- 実際のコロナ感染症が蔓延した状況、現場の対応や他施設のLIFEの取り組み方など大変参考になりました。ありがとうございました。

熊本県老人保健施設協会会員施設



- ①清雅苑 熊本市北区山室6丁目8-1 096-345-8112
- ②コスモピア熊本 熊本市東区尾ノ上1丁目3-12 096-384-8088
- ③桔梗苑 熊本市南区城南町沈目1481 0964-28-6811
- ④レ・ハビリス桜十字熊本東 熊本市東区三郎1丁目12-30 096-385-6262
- ⑤青翔苑 熊本市西区島崎2丁目21-10 096-359-5377
- ⑥阿房宮 熊本市北区龍田陳内1-3-20 096-337-1111
- ⑦杏の里 熊本市西区池田1丁目14-78 096-351-2788
- ⑧南楓苑 熊本市中央区南熊本2丁目11-1 096-371-5111
- ⑨光乃里 熊本市南区城南町今吉野972 0964-28-8000
- ⑩ぎんなんの里 熊本市北区楡木1丁目3-70 096-337-2700
- ⑪湧心苑 熊本市中央区出水4丁目15-30 096-371-4165
- ⑫ケアビレッジ箱根崎 熊本市北区植木町正清888 096-274-7700
- ⑬ぼたん園 熊本市南区御幸笛田6丁目8-1 096-370-1222
- ⑭第二コスモピア熊本 熊本市東区尾ノ上1丁目8-8 096-360-3111
- ⑮白藤苑 熊本市南区白藤5-1-1 096-358-7200
- ⑯みつぐ苑 熊本市北区貢町135 096-323-6123
- ⑰のぞみ 熊本市中央区本荘3丁目7-18 096-371-3399
- ⑱シルバーピア水前寺 熊本市中央区水前寺5丁目2-22 096-384-3399
- ⑲メディエイト鶴翔苑 熊本市東区保田窪本町10-112 096-387-8181
- ⑳フォレスト熊本 熊本市中央区渡鹿5丁目1-37 096-363-0101
- ㉑なすび園 熊本市西区沖新町3353 096-329-5666
- ㉒田迎ケアセンター 熊本市南区出仲間5丁目2-2 096-378-2223
- ㉓ケアセンター赤とんぼ 熊本市東区戸島西2丁目3番10号 096-331-3737
- ㉔なでしこ 熊本市中央区北千反畑2-5 096-343-7450
- ㉕かなこぎ苑 熊本市北区硯川町768-1 096-275-2788
- ㉖葵の森 熊本市西区松尾町近津1480番地 096-311-4004

- ㉗青海苑 宇城市三角町郡浦739-8 0964-54-1311
- ㉘あさひコート 宇土市旭町106番地 0964-23-5211
- ㉙景雅苑 宇土市上綱田町3676 0964-27-1708
- ㉚なごみの里 下益城郡美里町堅志田192-1 0964-47-6011
- ㉛松幸 宇城市松橋町西下郷544 0964-32-5516

- ㉜慈恵苑 天草郡苓北町上津深江278-10 0969-37-1567
- ㉝本渡ケア・ホーム 天草市下浦町2090-1 0969-24-3331
- ㉞臥龍園 天草郡苓北町富岡3273番地2 0969-35-1530
- ㉟松朗園 上天草市松島町今泉32-1 0969-56-3111
- ㊱ブルーマリン天草 天草市五和町御領9133 0969-32-2112
- ㊲ケアセンター鶴丸 天草市久玉町62-1 0969-72-6072
- ㊳天草中央総合病院附属 天草市東町101 0969-22-2111
- ㊴きららの里 上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19 0969-62-1123
- ㊵ほんごう苑 上天草市大矢野町登立8607 0964-56-5110
- ㊶ケーナ・ガーデン 天草市河浦町河浦4778-3 0969-76-1808
- ㊷夢織りの里天草 天草市楠浦町字掛場59番5 0969-22-8288

- ㊸聖ルカ苑 玉名郡長洲町宮野2772-10 0968-78-5521
- ㊹慈眼苑 荒尾市増永708-2 0968-64-1018
- ㊺樹心台 玉名市伊倉北方272 0968-73-4165
- ㊻ゆうきの里 玉名市上小田1063 0968-74-0666

- ㊼清風苑 玉名郡和水町上板楠1697-1 0968-34-3700
- ㊽平成ドリーム館 荒尾市水野1556 0968-68-7770
- ㊾星雲荘 玉名市横島町横島3384 0968-84-3717
- ㊿てんすい倶楽部 玉名市天水町部田見1214-15 0968-71-5600
- ㊽幸 玉名市岱明町鍋1831 0968-57-5105

- ㊿希望の園 山鹿市山鹿369 0968-44-2100
- ㊽山鹿リハビリセンター 山鹿市熊入町313 0968-43-4370
- ㊽太陽 山鹿市鹿本町津袋654-1 0968-46-6111

- ㊽サンライズヒル 菊池郡菊陽町曲手760 096-232-5656
- ㊽桜の里 合志市須屋702 096-343-8377
- ㊽おおつかの郷 菊池郡大津町陣内1165 096-294-1500
- ㊽ひらせ記念リハビリ苑 合志市福原3111 096-248-7100
- ㊽孔子の里 菊池市泗水町福本904-1 0968-38-5666
- ㊽リハビリセンターきくちの里 菊池市大琳寺123 0968-23-7721
- ㊽有隣 合志市野々島字東原4414-17 096-242-5050

- ㊽阿蘇グリーンヒル 阿蘇市一の宮町宮地121 0967-22-0500
- ㊽愛・ライフ内牧 阿蘇市内牧1105-1 0967-32-5511
- ㊽おぐに老人保健施設 阿蘇郡小国町大字宮原1742-1 0967-46-6111
- ㊽リハセンターひばり 阿蘇郡南阿蘇村大字吉田2044-2 0967-64-8000

- ㊽彩雲苑 上益城郡山都町北中島2701 0967-75-0222
- ㊽ライフライト矢部 上益城郡山都町下市60 0967-72-1110
- ㊽御船清流園 上益城郡御船町御船1062-1 096-282-1616
- ㊽平成唯仁館 上益城郡益城町宮園字三の迫1139-1 096-286-0666
- ㊽ナーシングケア緑風苑 上益城郡甲佐町白旗271 096-234-3788
- ㊽ケアポート益城 上益城郡益城町安永1030 096-289-0777

- ㊽八祥苑 八代市氷川町早尾132 0965-62-4818
- ㊽ハピネスケア日南 八代市日奈久塩北町2922 0965-38-0700
- ㊽向春苑 八代市大福寺町2411-1 0965-33-8660
- ㊽アメニティゆうりん 八代市古閑浜町西塩浜3401 0965-33-8880
- ㊽かがみ苑 八代市鏡町塩浜235 0965-30-4000
- ㊽とまと 八代市郡築1番町180-1 0965-37-3737
- ㊽皇寿園 八代市高島町4218 0965-33-5545


- ㊽やすらぎ苑 水俣市浜4051 0966-63-8621
- ㊽白梅の里 水俣市浜4098-18 0966-63-3888
- ㊽新清苑 葦北郡芦北町大字芦北字塩屋田尻2727-1 0966-61-3055

- ㊽サンライフみのり 球磨郡相良村大字川辺1778 0966-35-0840
- ㊽リバーサイド御薬園 人吉市七地町495 0966-22-6811
- ㊽山江老人保健施設 球磨郡山江村大字山田字南永シ切1705 0966-24-9800
- ㊽シルバーエイト 球磨郡多良木町大字多良木4210 0966-42-5288
- ㊽タンポポ 人吉市下漆田町字後平1538 0966-25-1551
- ㊽愛生 人吉市南泉田町89 0966-28-3586
- ㊽もみの木 人吉市下林町232 0966-22-0200

●は令和4年度ブロック代表者施設です。

令和4年度 研修会企画


- | | |
|-----|------------------------------|
| 6月 | 第1回 オンライン研修会〈職員基礎研修会〉 |
| 7月 | 第2回 オンライン研修会〈職員基礎研修会〉 |
| 9月 | 全国老人保健施設大会(兵庫・神戸) |
| 10月 | 福祉用具・介護ロボット等に関する研修会 (開催方法未定) |
| 11月 | 管理職研修会予定 (内容検討中) |
| 12月 | 九州ブロック介護老人保健施設大会(佐賀) |
| 2月 | 熊本県老人保健施設大会 |



in 兵庫

第33回 全国介護老人保健施設大会
新たな時代をいきぬくために
～今、老健ができること～

会期 令和4年9月22日(木)・23日(金)
会場 神戸ポートピアホテル
神戸国際会議場 他



in さが

第21回 九州ブロック介護老人保健施設大会
がばいよか老健
～令和時代の老健の在り方とは～

会期 令和4年12月15日(木)・16日(金)
会場 佐賀市文化会館

プログラムの内容・時間は、変更になる場合がありますので、随時大会ホームページにてご案内いたします。

～新型コロナウイルス感染拡大防止対策～ **最新情報にご留意ください**

全老健ホームページにて随時更新中 <http://www.roken.or.jp/>

「お知らせ」→「厚生労働省からのお知らせ」→「介護保険最新情報」へ掲載

編集後記

新型コロナウイルスも少しずつ落ち着きを取り戻しつつある今日この頃ですが皆様いかがお過ごしでしょうか？ご家族様の面会も施設開放とまでは遠い状況で、もう暫く時間が必要に思います。

さて、6月から海外からの渡航者の受入れも再開し、同時に外国人労働者の方々の入国にも期待するところです。働き方改革やIT化が進んでも“温かみのある人の手”“人と人の触れあい”が欠かせない仕事柄、人材確保には大変苦慮されていることと思います。それぞれ諸問題を抱えていると思いますが各施設で創意工夫を重ね熊本県介護老人保健施設を盛り上げて行きましょう！

青海苑 後藤

広報委員 後藤 健(青海苑)
古澤 浩幸(湧心苑)
岩尾 英憲(山鹿リハビリセンター)

印刷：シモダ印刷株式会社

【広報委員募集中！】